
王者の国

らーめん星人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

王者の国

【Nコード】

N1562N

【作者名】

らーめん星人

【あらすじ】

主人公は大国の王だった

それが今処刑されようとしている

「本当にそれでいいのかね」

老人の声が聞こえた

名君

私は名君である

私は英雄である

私が右を向けといえは私の優秀な兵士たちは右を向くだろう

私が左を向けといえは私の優秀な兵士たちは左を向くだろう

私が突撃をしろと言えは私の優秀な兵士たちは私のために死に行
くのだ

だが私の優秀な兵士はもういない

私の優秀な兵士の一人は私に愛想を尽かしどこかへ行ってしまった

私の優秀な兵士の一人はあの戦争で死んでしまった

私の優秀な兵士の一人はいつの間にか老いて死んでしまった

私の優秀な兵士の一人は私より敵を選んだ

私は名君であった、しかし私の優秀な兵士はもはやどこにもいない

私はクレプメリアという大国の国王の子として生まれた

待ちに待った子、第一王位継承者だった

私は王子だった

私が成人になったとき国中総出で私の成人を祝った

私が三十歳のとき我が父が死んだ、名君であつた

死んだ父の家臣達の結束は固く国中の兵士達も私に従った、国中が私に従った

私はクレプメリアのすべてを支配する大国の長となつた

隣国中から祝いの手紙と品が届いた、私は王となつた

私が四十歳のとき隣の大国、グロートランドが私の国に攻めてきた

私の優秀な兵士たちは私のため、祖国のために戦つた

しかし私の国は敗れた

私が五十歳のとき私の国は小国に成り下がった、私はまだ王だった

私が六十歳の時私の国で叛乱ののろしが上がった

国中が乱れ、私の国は滅亡の危機に瀕した

私が六十五歳を迎える前に、私の国は滅びグロートランドに併合された

私は名君だったのか、本当に名君だったのか

そして今、私の処刑が行われようとしている

私の優秀な兵士たちはだれも私を助けようとしない、私の優秀な兵士達はもはやどこにもいない

私は名君ではなかった

私の人生は終わった

「本当にそれでいいのかね？」

老人の声が聞こえた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1562n/>

王者の国

2010年10月10日10時51分発行